



大豆(タマフクラ) No.1

のう じ でん そう 農 時 電 送

J A新はこだて若松支店、J Aきたひやま、J A今金町
檜山農業改良普及センター檜山北部支所 TEL 84-5514

「タマフクラ」のは種について

「タマフクラ」はこれまでの作付において、ほ場の排水不良やは種直後の降雨の影響による出芽不良が発生しています。

溝切り等によりほ場の乾燥と地温の上昇に努め、低温で土壤水分が多い状態での耕起・は種は避けましょう。

☆ほ場の選定

- ① これまでにダイズシストセンチュウの被害が発生したほ場への作付けは避けましょう（「タマフクラ」は抵抗性はありません）。
- ② 降雨で表層の固くなりやすい粘性の高い土壤、排水不良ほ場での作付けは避けましょう。

☆は種の目安

は種時期は 5月中旬以降（地温10℃以上、出芽期に降霜の心配がない時期）を基本とし、5月中には種作業を終わらせましょう。

は種時期	うね幅 (cm)	株間と10a当たり株数	
		18cm	~ 21cm
5/25~30	66	8,418株	~ 7,215株

☆施肥の目安

S 3 2 5 または B B S 3 4 3 50~70kg/10a（窒素:1.5~2.1kg/10a）

※施肥量は地力により調整する。また、窒素過多は根粒菌の着生を悪くするので避ける。

☆は種時の注意点

- ① は種直後に多量の降雨が予想される場合や、土壤水分が高い状態でのは種は避けましょう。
- ② は種深度は4cmより深くしないようにしましょう。
- ③ クルーザーFS30（チアメトキサム水和剤）の単独処理は避け、キヒゲンR-2フロアブルを併用しましょう。

☆は種前・は種時に使用する農薬

☆除草剤散布時期

} 「農時電送」大豆No.1を
参照してください。

○●農作業事故には十分注意しましょう●○